

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【こどもプロジェクト】 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
1	芸術士派遣事業	芸術士が本市内の公私立の保育所・こども園と、公立幼稚園を分担し、日々の保育及び教育の中で保育士等と連携しながら、子どもたちと造形活動や身体表現等、様々な表現活動を行っています。 芸術士は、子どもたちの無限の可能性を信じ、子どもたちの感性と創造力を最大限に引き出す手助けをし、子どもたちと社会をつなぐ架け橋として子どもたちの創造力の育成に努めています。	4	決算額:34,877千円 予算額:34,878千円	派遣箇所数	平成25年度 27か所 平成26年度 35か所 平成27年度 40か所 平成28年度 40か所 平成29年度 40か所 平成30年度 43か所 令和元年度 43か所 令和2年度 43か所	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動報告展は中止した。	100.0%	平成21年から実施してる事業であるが、今後も、芸術士を保育所等へ派遣を行い、それぞれの芸術分野を生かしながら、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていけるよう導くとともに、指導方法の共有化や人材の確保に努める。 なお、令和3年度から希望する全ての施設に派遣施設を拡大し、それに伴い、1施設当たりの派遣回数を縮小して実施することとしている(3年度:73施設、年間1,600回(1施設当たり22回程度)、2年度:43施設、1施設当たり40回程度)。	当該年度の意見交換を行う場である懇談会について、例年2回実施していたが、開催回数を1回に縮減する予定である。 新型コロナウイルス感染拡大期においては、派遣の中止を検討し、中止した場合は延期や他園への振替え等により調整して対応する。	平成21年から実施している事業であるが、今後も、芸術士を保育所等へ派遣し、それぞれの芸術分野を生かしながら、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていけるよう導くとともに、指導方法の共有化や人材の確保に努める。	新型コロナウイルス感染拡大期においては、派遣の中止を検討し、中止した場合は延期や他園への振替え等により対応する。 派遣及び懇談会の実施に当たっては、感染防止対策の徹底に努めた上で行う。	継続	こども保育教育課
2	0才からのコンサート	0歳から3歳くらいまでの子どもとその保護者(妊婦を含む)を対象に、親子で一緒に楽しめるクラシック・コンサートの鑑賞の機会を提供し、乳幼児をもつ保護者へのひとときの安らげる時間を提供するほか、乳幼児には幼い頃から音楽に触れる機会を提供し、音楽文化の創造に関心を深めることを目的に実施します。	4.17	決算額:1,000千円 予算額:1,000千円	観客数	平成25年度 実績なし 平成26年度 463人 平成27年度 602人 平成28年度 559人 平成29年度 641人 平成30年度 361人 令和元年度 299人 令和2年度 404人 令和3年度 269人(見込)	2公演中止。公演日、会場を変更のうえ、鑑賞者数を減らして開催した。	135.1%	鑑賞申込の機会均等を図るため受付方法を見直すとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き、市民の人气が高い本事業の開催を継続し、より多くの市民が音楽に触れる機会を提供する。	従来から行っている申込者連絡先の把握に加え、出演者の体調管理、当日の消毒、3密回避等の対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き、市民の人气が高い本事業の開催を継続し、より多くの市民が音楽に触れる機会を提供する。	従来から行っている申込者連絡先の把握に加え、出演者の体調管理、当日の消毒、3密回避等の対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。 なお、できる限り観客間の距離を確保するため、収容人数の大きい施設を中心に開催する。	継続	文化芸術振興課
3	ものづくりふれあい教室事業	小・中学生を対象に、ものづくりにチャレンジしながら、文化の創造に関心を深め、ものづくりの大切さを体験する機会を提供します。 工芸の視点も取り入れ、子どもたちに日本の伝統文化の魅力も伝えていきます。	4.17	決算額:480千円 予算額:480千円	参加数	平成25年度 829人 平成26年度 861人 平成27年度 1,223人 平成28年度 1,025人 平成29年度 651人 平成30年度 760人 令和元年度 693人 令和2年度 644人 令和3年度 572人(見込)	新型コロナウイルス感染症の影響により1校が中止となった。	92.9%	小・中学校のニーズに沿えるようメニュー構成を一部見直すとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	開催校と十分に協議し、講師の体調管理、当日の消毒、3密回避等の対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。	継続	文化芸術振興課
4	学校巡回芸術教室・能楽教室事業	小・中学生の情操教育の一助とし、健全育成に資するため、学校巡回形式で、生の優良な芸術や古典芸能を鑑賞し、体験する機会を提供します。 今後は、能楽、歌舞伎等の伝統芸能を身近に鑑賞、体験できる機会の提供(ホール公演、薪能等)についても検討していきます。	4.17	決算額:4,562千円 予算額:4,200千円	【学校巡回芸術教室】 参加者数	平成25年度 8,360人 平成26年度 7,097人 平成27年度 12,283人 平成28年度 9,876人 平成29年度 7,983人 平成30年度 9,147人 令和元年度 10,044人 令和2年度 4,739人 令和3年度 3,646人(見込)	一部については、鑑賞者数を減らしての実施となった。新型コロナウイルス感染症の影響により4校が中止となった。	47.2%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	開催校と十分に協議し、出演者の体調管理、当日の消毒、3密回避等の対策を講じた上で、状況を見極めながら実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。	継続	文化芸術振興課
						平成25年度 2,172人 平成26年度 2,965人 平成27年度 1,555人 平成28年度 3,617人 平成29年度 3,243人 平成30年度 2,650人 令和元年度 2,466人 令和2年度 1,383人 令和3年度 945人(見込)	一部については、鑑賞者数を減らしての実施となった。	56.1%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	開催校と十分に協議し、出演者の体調管理、当日の消毒、3密回避等の対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【こどもプロジェクト】 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
5	地域密着型トップスポーツチームの活用	カマタマーレ讃岐等、4つの地域密着型トップスポーツチームを活用し、学校訪問や試合への無料招待等、子どもたちに直接選手等と交流できる機会を提供することで、子どもたちの向上心や創造力の育成を図ります。 平成29年度からは、香川ファイブアローズの選手が施設(市内幼稚園・保育園、小・中学校など)を訪問し、交流を深めることで、広く市民にチームをPRし、ファン層の拡大や青少年の健全育成等を図ることを目的として、新たに「ホームタウン推進事業」を実施しています。さらに、30年度からは、カマタマーレ讃岐を本事業の対象とするなど、今後も、香川県やトップスポーツチームと連携を図りながら、様々な機会を通じ、より多くの子どもたちにトップスポーツチームの選手等と交流できる機会を提供していきます。	3.4.17	決算額:13,196千円 予算額:14,618千円	教室等開催回数	平成25年度 15回 平成26年度 11回 平成27年度 10回 平成28年度 7回 平成29年度 65回 平成30年度 109回 令和元年度 79回 令和2年度 44回	新型コロナウイルス感染症の影響により、教室を開けないチームが多く、開催回数も大幅減となった。	55.7%	地域密着型トップスポーツチームを活用し、引き続き、市内幼稚園・小中学校等への訪問や高松市民応援デー等における試合への無料招待などを実施していく。また、練習・教室使用料補助事業を通じ、地域密着型トップスポーツチームが市内におけるスクール事業の拡大に向けて取り組むなど、今後においても、子どもたちの向上心や創造力の育成を図っていくため、県や地域密着型トップスポーツチームと連携を図りながら、様々な手段を通じ、一人でも多くの子どもたちに選手等と触れ合え、夢を実現する機会を提供していく。	新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染防止対策を講じた上で実施した。	地域密着型トップスポーツチームを活用し、引き続き、市内幼稚園・小中学校等への訪問や高松市民応援デー等における試合への無料招待などを実施していく。また、練習・教室使用料補助事業を通じ、地域密着型トップスポーツチームが市内におけるスクール事業の拡大に向けて取り組むなど、今後においても、子どもたちの向上心や創造力の育成を図っていくため、県や地域密着型トップスポーツチームと連携を図りながら、様々な手段を通じ、一人でも多くの子どもたちに選手等と触れ合え、夢を実現する機会を提供していく。	新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染防止対策を講じた上で実施する。	継続	スポーツ振興課
6	高松市美術館こどもアートスペース	平成28年3月のリニューアルに合わせて、高松市美術館内に「こどもアートスペース」を開設しました。“ふらっとアート”では気軽に制作を楽しめるプログラムをシーズン毎に企画提供し、未就学児を始め様々な世代等に親しまれる教育普及プログラムを展開します。	4	決算額:206千円 予算額:196千円	こどもアートスペース利用者数	平成28年度 1,776人 平成29年度 1,303人 平成30年度 1,765人 令和元年度 3,417人 令和2年度 3,238人	臨時休館(4/1～4/5及び4/22～5/10)や「こどもアートスペース」の臨時休室(4/1～5/31)により、開室日数が減少した。	94.8%	「こどもアートスペース」を活用し、未就学児を始め様々な世代に親しまれる教育普及プログラムを展開していく。特に“ふらっとアート”では気軽に制作を楽しめるプログラムをシーズン毎に企画提供し、幅広い世代に楽しんでいただく。また、子ども向けの美術図書や絵本を自由に閲覧していただく。	令和3年度も臨時休館(5/4～5/31、8/7～9/30等)や「こどもアートスペース」の臨時休室(6/1～6/20)があったが、万全の感染対策を取りながら、事業を継続する。	引き続き「こどもアートスペース」を活用し、未就学児を始め様々な世代に親しまれる教育普及プログラムを展開していく。特に“ふらっとアート”では気軽に制作を楽しめるプログラムをシーズン毎に企画提供し、幅広い世代に楽しんでいただく予定。また、子ども向けの美術図書や絵本を自由に閲覧していただく。	万全の感染対策を取りながら、事業を継続する。	継続	美術館美術課
7	こども未来館わくわく体験事業	子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流、子育てに係る支援並びに学習及び体験活動の場を提供することにより、子どもの夢や想像力を育むとともに、健やかな成長に資するため、遊びや科学、アートなどの体験活動を提供するイベントプログラムや親子で参加できる体験イベントなどの様々な魅力ある事業の提供に努めています。	3、4、10、17	決算額:0千円 予算額:2,475千円	開館記念事業としての実績: 企画事業入館者数 平成29年度～: こども未来館わくわく体験事業参加者数	平成28年度 6,694人 平成29年度 4,833人 平成30年度 5,550人 令和元年度 4,367人 令和2年度 284人	新型コロナウイルス感染症で実施を自粛するなどしたため、参加者数が減少した。	6.5%	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもの夢や想像力を育み、健やかな成長に資するような体験イベントなどを実施する。	今後の状況に応じて実施できるか判断することになるが、利用者の安全性の確保に努め、概ね実施予定である。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもの夢や想像力を育み、健やかな成長に資するような体験イベントなどを実施する。	状況に応じて判断することになるが、消毒や換気の徹底を徹底し、利用者の安全性の確保に努め、概ね実施予定である。	継続	こども未来館
8	子ども・子育て支援事業	みんなのひろばとプレイルームを子どもと保護者の居場所として提供するとともに、子ども・子育ての相談に対応し、子どもと親がともに育ち合う子育て支援機能とふれあい・交流による多世代交流機能を果たすことを目的として実施します。	3、4、10、17	決算額:21,658千円 予算額:30,849千円	みんなのひろば・プレイルーム利用者数	平成28年度 35,082人 平成29年度 76,597人 平成30年度 80,443人 令和元年度 73,871人 令和2年度 38,515人	新型コロナウイルス感染症で閉館するなどしたため、利用者数が減少した。	52.1%	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもと保護者のふれあいの場となるよう居場所提供事業を行う。また、閉館期間中は自宅でも楽しめるよう動画配信を行っている。(公開動画数4本、合計視聴回数371回)	新型コロナウイルス感染症の影響で、5月4日から6月1日まで閉館、6月2日から6月20日まで土日閉館、みんなのひろば・プレイルームを閉鎖した。新型コロナウイルス感染症対策として、入場制限を設けるほか、1時間につき30分の換気・清掃を行うなど、利用者の安全性の確保に努めている。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもと保護者のふれあいの場となるよう居場所提供事業を行う。	状況に応じて判断することになるが、消毒や換気の徹底を徹底し、利用者の安全性の確保に努め、概ね実施予定である。	継続	こども未来館

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【こどもプロジェクト】 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
9	こども未来館学習 体験事業	市内の小学校4年生(ただし、学校の状況により5年生以上、学校の希望により、中学校の生徒を対象に実施できる。加えて、連携中枢都市圏の小・中学校も受入れ可能。)を対象として、こども未来館の施設を利用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的に実施します。	3、4、 10、17	決算額:29,315 千円 予算額:36,168 千円	こども未来館学習実施学校数/延べ人数	平成28年度 21校/1,737人 平成29年度 54校/4,558人 平成30年度 61校/4,821人 令和元年度 61校/4,861人 令和2年度 42校/3,470人(うち、出張!こども未来館学習36校/3,146人)	新型コロナウイルス感染症で前年度に比べ実績が下回った。	学校数:68.9% 延べ人数:71.4%	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、こども未来館学習を実施した学校からの意見を踏まえて、学習の課題等を検討し、学習内容の充実を図りながら実施する。	こども未来館学習を予定どおり実施できるかは、今後の状況と学校側の判断次第であるが、新型コロナウイルス感染症対策を行い実施中である。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、こども未来館学習を実施した学校からの意見を踏まえて、学習の課題等を検討し、学習内容の充実を図りながら実施する。	状況に応じて判断することになるが、消毒や換気の徹底を徹底し、利用者の安全性の確保に努め、概ね実施予定である。	継続	こども未来館
10	夢みらい図書館	子ども向けの本を充実させるとともに、おはなし会や読み聞かせ、多様なイベント等を開催するなど、子どもに重点を置いた、子どもも大人も楽しく本に親しむことができる場を提供しています。	4	決算額:10千円 予算額:53千円	子ども対象イベント参加者数	平成28年度 496人 平成29年度 2,555人 平成30年度 2,684人 令和元年度 2,207人 令和2年度 1,161人	休館中の行事が中止となったことにより参加者が減少した。	52.6%	令和2年度に設置し貸出件数の多かった、年齢別「おすすめ本のコーナー」を含め子ども向けの図書を更に充実させるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、読書に親しめるようおはなし会等行事を実施する。	たかまつミライエの休館に合わせて図書館を休館した期間の行事は、中止及び延期した。開館後は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、読書に親しめるようおはなし会等を実施する。	子ども向けの本を、より一層充実させるとともに、定例おはなし会を継続実施するほか、今後も、こども未来館ほか関係課とも連携を図りながら、読書に親しめるような多様なイベントを開催し、子どもの読書活動の推進に取り組む。	コロナ禍における読書の有効性(黙・独)は周知のとおりである。これまでどおり、換気や手指消毒の徹底など十分な感染対策を講じた上で、座席数を減らし、間隔を空けて利用していただく。また、予約図書の受取などの活用により、図書館利用の機会を減らさずに、滞在時間を短くする方策を講じる。	継続	中央図書館
11	劇団四季ミュージカル「こころの劇場」	高松市において実施される劇団四季「こころの劇場」ミュージカル公演について、本市並びに瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の児童(小学6年生)を招待します。	4,17	決算額:0千円 予算額:0千円	鑑賞者数	【観客数/回数】 平成25年度 4,985人/1公演6回 平成26年度 5,323人/1公演6回 平成27年度 5,362人/1公演6回 平成28年度 5,303人/1公演5回 平成29年度 4,997人/1公演5回 平成30年度 5,144人/1公演5回 令和元年度 5,211人/1公演5回 令和2年度 中止 令和3年度 4,042人(予定)/映像配信	希望する小学校に映像配信にて実施。	-	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多数の児童が安心して観劇する環境の整備が困難であることなどから、映像配信による実施に変更した。	サンポートホール高松での公演を見送るが、劇団が行う映像配信による公演鑑賞を実施した。	劇団が行う映像配信による公演鑑賞を実施する。	サンポートホール高松での公演を見送り、劇団が行う映像配信による公演鑑賞を実施する。	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【工芸プロジェクト】 伝統・芸術・デザインの力で新しい未来を拓く

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
1	伝統的ものづくり 学校巡回教室	市内小・中学校へ伝統工芸の職人を派遣し、ワークショップ等を開催することで、高松の歴史を伴う伝統工芸に関する理解や関心を深めるとともに、情操教育の一助に寄与します。	4.8,9,12, 17	決算額:670千円 予算額:675千円	参加者数/回数	平成26年度 404人/14回 平成27年度 360人/14回 平成28年度 280人/6回 平成29年度 138人/4回 平成30年度 299人/3回 令和元年度 268人/3回 令和2年度 262人/3回 令和3年度 148人/3回	影響なし (※参加者数の減少は、実施校の児童数が少なかったため。)	参加者数:97.8% 回数:100%	伝統的ものづくりの職人を希望のあった小・中学校へ派遣し、話を聞いたり、作品や作業風景を見たりする場を設ける。次代を担う子どもたちの自分自身の住んでいるまちに対する「誇り」や「愛着心」を醸成させることができるような事業となるよう、継続して実施する。	昨年度同様、児童生徒と職人間の距離を取るほか、マスク・フェイスシールドの着用、手指や道具の消毒などの感染症対策を取り開催した。開催を予定していた小学校のうちの1校より新型コロナウイルスの感染拡大を理由に、中止の申出があり、日程の変更や、WEB会議システムを利用し、職人の作業現場と教室をビデオ中継でつなぎ、対話ができるようにする等の対応を提案したが、行事の調整が難しいことや、直接目で見て体験できることが本事業の魅力であることから中止とし、開催校の再調整を行うことで、予定通り3校で実施した。	実施しない。	影響なし。	未定	産業振興課
2	伝統的ものづくり 親子体験教室	夏休み期間中に小学生親子を対象として、伝統工芸品の制作体験を実施し、地域資源である伝統工芸について理解と関心を深めます。	4.8,9,12, 17	決算額:84千円 予算額:84千円	参加者数/回数	平成26年度 111人/4回 平成27年度 242人/10回 平成28年度 294人/10回 平成29年度 230人/8回 平成30年度 300人/12回 令和元年度 326人/12回 令和2年度 161人/12回 令和3年度 253人/10回	新型コロナウイルス感染拡大のため、1講座2回を中止した。	参加者数:49.4% 回数:100%	親子で地域の歴史・文化と共に受け継がれてきた伝統的ものづくりを学び体験することで、地域の資源としての文化やものづくりについての理解と関心を深めるとともに、内外へ発信出来る人を増加させることが出来るよう、継続して実施する。	昨年度同様、参加者間の距離を確保するため1日1講座とし、手指や道具、座席の消毒など感染症対策を講じながら実施した。 新型コロナウイルス感染拡大のため、1講座2回を中止した。	親子で地域の歴史・文化と共に受け継がれてきた伝統的ものづくりを学び体験することで、地域の資源としての文化やものづくりについての理解と関心を深めるとともに、内外へ発信出来る人を増加させることが出来るよう、継続して実施する。	昨年度同様、参加者間の距離を確保するため1日1講座とし、手指や道具、座席の消毒など感染症対策を講じながら実施する。	継続	産業振興課
3	たかまつ工芸 ウィーク	本市の誇る工芸品の展示や販売、工芸を体感する産地ツアーやワークショップなどを市内の店舗や施設で開催する。	4.8,9,12, 17	決算額:1,075千円 予算額:1,200千円	参加施設、店舗、 イベント数	令和元年度 42か所・イベント 令和2年度 41か所・イベント 令和3年度 49か所・イベント	参加店舗数は増え、実績は上昇したものの、人が集うイベントを開催できなかった。	97.6%	令和3年度も、関係団体等と実行委員会を立ち上げ、市内の店舗や施設同士が繋がりがあい、工芸に特化した期間をつくることで、高松を工芸の発信地として広く内外にPRした。 特に、SNSでの情報発信に注力し、実行委員や大学生が工房やイベント等での取材を行い計画的にInstagramでの発信を行った。また、高松の工芸を一か所に集めたキックオフイベントを開催し、インフルエンサーを招待しSNSやメディアを通して情報発信を行った。	集客型イベントや、産地ツアー等の開催は難しいため、実行委員会において、感染リスクが低く、かつPR効果の高い事業内容を検討する。	令和4年度も、関係団体等と実行委員会を立ち上げ、市内の店舗や施設同士が繋がりがあい、工芸に特化した期間をつくることで、高松を工芸の発信地として広く内外にPRする。	集客型イベントや、産地ツアー等の開催は難しいため、実行委員会において、感染リスクが低く、かつPR効果の高い事業内容を検討する。	継続	産業振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【工芸プロジェクト】伝統・芸術・デザインの力で新しい未来を拓く

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
4	高松盆栽振興事業	平成28年度から高松盆栽の普及及び生産拡大の推進を図るために各種事業を実施します。 ○高松盆栽PR事業 盆栽大会への出展など、高松盆栽のPRを実施 ○盆栽産地振興事業 盆栽産地の振興を図るため、産地の活動を支援 ○盆栽輸出振興事業 盆栽の輸出の拡大を図るため、海外盆栽バイヤーとの商談会の開催及び輸出体制の整備を支援	8.9,11,15	決算額:5,220千円 予算額:6,000千円	商談会等の実施	【平成28年度】○高松盆栽のPRグッズ等を作成 ○海外盆栽バイヤーとの商談会を実施 【平成29年度】○平成29年4月にさいたま市で開催された世界盆栽大会に出展し、高松盆栽のPRを実施 【平成30年度】商談会の開催 2回(ベルギー、ドイツ) 【令和元年度】2回(バイヤーの出身国:イタリア、ドイツ) 【令和2年度】10回	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により商談会は実施できなかった。	-	高松盆栽の振興を図るため、高松盆栽のプロモーション・誘客促進に取り組み、盆栽の新たなターゲット層を開拓する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により商談会の実施は困難な状況であるが、EU向け黒松の検査登録を推進し、令和4年度以降の輸出拡大を目指す。	No.5の高松盆栽産地ブランド確立事業へ統合する。	商談会については、盆栽生産者と連携して、香川県産品振興課が実施するオンライン商談会の活用を図る。	統合	農林水産課
5	高松盆栽の郷推進事業 (令和4年度～高松盆栽産地ブランド確立事業)	平成29年度に策定した「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、盆栽産地(鬼無・国分寺地区)の伝統的な盆栽文化の一層の普及・定着による「高松盆栽の郷」の産地そのもののブランド化を図るため、4つの基本方針に基づき香川県と連携しながら総合的な産地振興に取り組んでいきます。 ○国内需要の拡大 新たな需要創出に向けた取組、盆栽の文化や魅力を伝えるための情報発信・PR活動 ○輸出の拡大 輸出増加のための取組、輸出基盤の強化や販路拡大への取組、盆栽の文化や魅力を伝えるための情報発信・PR活動 ○産地基盤の強化 盆栽後継者の育成のための取組、生産・販売の基盤強化のための取組 ○高松盆栽の郷づくり 「高松盆栽の郷」基本構想に基づくツーリズム等の取組、「高松盆栽の郷」の核となる拠点施設の整備	8.9,11,15	決算額:25,383千円 予算額:15,080千円	「高松盆栽の郷」売上高	令和2年度 23,329千円	新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外からの集客が見込めないため、売上が伸び悩んでいる。	-	「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、①国内需要の拡大、②輸出の拡大、③産地基盤の強化、④高松盆栽の郷づくりを推進するため、引き続き各種事業を実施する。 令和3年度については、拠点施設「高松盆栽の郷」を核としたPR事業等に対する支援や誘客促進事業を行い、国内外に高松盆栽の魅力情報を発信する。 また、研修施設である「(株)盆栽の匠」において、国内外の研修生の受入体制を整備し、盆栽の担い手確保・育成を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、高松盆栽学校及び高松盆栽の郷フェスタを継続開催する。	No.4の高松盆栽振興事業を統合し、県と連携して、高松盆栽の輸出拡大による産地活性化対策を推進するとともに、拠点施設「高松盆栽の郷」を核とした盆栽ツーリズム等の取組に対する支援を行い、国内外に高松盆栽の産地ブランドの確立を図る。	イベント等については、引き続きオンライン開催を視野に入れた対応を行うとともに、アフターコロナにおいて誘客促進に繋がるような取組を実施する。	改善継続	農林水産課
6	むれ源平石あかりロード	地元庵治石の普及振興を始め、地域の賑わいづくりを目的として始めた事業で、市としては、源平屋島地域活性化事業を通して、後援しています。 「庵治石のあかり」を道路沿いに配置して、源平史跡を巡るイベントで、庵治石とデザイン、史跡を融合した産業観光視点のイベントとして開催されており、期間中の毎週土曜日に限定したライブ等の多彩なイベントを始め、企画展示や観覧参加者が審査するコンテストの実施など、毎年、県内外から多数の参加者を集める事業として注目されています。	8	決算額:0千円 予算額:1,060千円	来場者数	平成25年度 75,000人 平成26年度 52,000人 平成27年度 75,000人 平成28年度 80,000人 平成29年度 75,000人 平成30年度 60,000人 令和元年度 70,000人 令和2年度 中止	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止となった。	-	地元庵治石の普及振興を始め、地域の賑わいづくりを目的として、「庵治石のあかり」を道路沿いに配置し、源平史跡を巡るイベントの実施を検討しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底することができない場合は中止する。	新型コロナウイルスの感染状況に十分配慮し、地元庵治石の普及振興を始め、地域の賑わいづくりを目的として、「庵治石のあかり」を道路沿いに配置し、源平史跡を巡るイベントの実施を検討しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底することができない場合は中止する。	引き続き、新型コロナウイルスの感染状況に十分配慮しながら、事業の実施形態や取組方針について検討する。	継続	観光交流課	

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【食プロジェクト】豊富な食文化と異文化との融合

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
1	人・農地プラン推進事業	地域での話し合いに基づく「人・農地プラン」の作成・実行により、農地集積・集約化や新規就農・経営継承を促し、農業の体質強化を図ります。 また、国の事業等を活用し、新規就農者等の担い手の定着による地域農業の活性化を図ります。	8.9,11,15	決算額:39,231千円 予算額:0千円	人・農地プランの作成地区数	平成25年度 30地区 平成26年度 31地区 平成27年度 32地区 平成28年度 32地区 平成29年度 32地区 平成30年度 32地区 令和元年度 32地区 令和2年度 33地区 令和3年度 33地区	無し	103.1%	地域での話し合いに基づく「人・農地プラン」の作成・実行により、農地集積・集約化や新規就農・経営継承を促し、農業の体質強化を図る。 また、国の事業等(農業次世代人材投資資金等)を活用し、新規就農者等の担い手の定着による地域農業の活性化を図る。	「人・農地プラン」の実質化には地域での話し合いが不可欠であるため、新型コロナウイルス感染拡大に細心の注意を払い、検討会を行う。	令和4年度に想定されている「人・農地プラン」の法定化により、ルールとして継続的に取り組むべきものと位置付け、プランの更新を行うことにより地域農業の活性化を図る。 また、関係諸機関(香川県、農業委員会、香川県農地機構等)と連携し、今後求められる地域が目指すべき将来の具体的な農地利用の姿(「目標地図」)の作成に取り組み、農地集積・集約化や新規就農・経営継承を促し、農業の体質強化を図る。 また、国の事業等(農業次世代人材投資資金等)を活用し、新規就農者等の担い手の定着による地域農業の活性化を図る。	「人・農地プラン」の更新及び「目標地図」の作成には地域での話し合いが不可欠であるため、新型コロナウイルス感染拡大に細心の注意を払い、検討会を行う。	継続	農林水産課
2	高松ブランド農産物育成支援事業	消費者との地産地消を基本とした共生型農業を推進するため、市内で生産された新鮮で良質な農産物や加工品を「高松産ごじまん品」として市民に提供するとともに、情報発信や農業体験教室、料理教室等の開催を通じて市内農産物の需要拡大と市民の健康で豊かな食生活の実現を図ります。 今後も、食育・地産地消の推進、農産物のブランド化を推進するため、継続して事業を行ってまいります。	8.9,11,15	決算額:1,827千円 予算額:3,100千円	高松産ごじまん品関連イベント ・ たかまつ食と農のフェスタ ・ おにぎり教室(保育園・幼稚園を対象) ・ 野菜塾 ・ 料理教室 ・ 農産物のPR(試食・販売等) など	平成25年度 46回 平成26年度 49回 平成27年度 46回 平成28年度 47回 平成29年度 36回 平成30年度 36回 令和元年度 36回 令和2年度 6回	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により多くのイベントが中止となった。	16.7%	JA香川県等と連携し、農産物のPR、地産地消・食育、及び6次産業化・農工商連携の推進を図る。	「たかまつ食と農のフェスタ」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。試食・販売等のイベントは中止したが、食育及び地産地消を推進するため、JA及び市場関係者と連携して、学校給食に「小原紅早生」を提供した。	JA香川県等と連携し、農産物のPR、地産地消・食育、及び6次産業化・農工商連携の推進を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めた上で、各種取組を実施する。	継続	農林水産課
3	たかまつ市場フェスタ事業	高松市民の台所としての卸売市場の役割や流通の仕組みを広く市民に周知・啓発するとともに、生鮮食料品等の流通の円滑化と消費拡大を図るため、市民と卸売市場との交流の機会を確保しています。	2.12.14	決算額:0千円 予算額:2,000千円	来場者数	平成25年度 17,000人 平成26年度 17,500人 平成27年度 18,000人 平成28年度 18,500人 平成29年度 19,000人 平成30年度 20,000人 令和元年度 23,000人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	開催を中止した。	-	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントの開催を見送った。市場の認知度向上手段の代替事業として、市場内関係者で組織する「高松市中央卸売市場運営協議会」と協力して、高松市卸売市場紹介動画等及び市場広報スペースを制作予定。	感染拡大の収束の見通しが立たないため、今年度の開催は中止とした。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるほか、市民の満足度を維持できるようICTの活用等イベントの内容を見直しながら事業を継続し、市場の認知度向上及び生鮮食料品の消費拡大を図る。	イベントの内容を見直し、密にならないための来客者同士の距離の確保及び動線を整備するとともに、アルコール消毒等の徹底を行いながら、イベントを開催する。	継続	市場管理課
4	市場特別開放事業	普段は、許可を受けた人しか入場できない卸売市場で、お買い物をしていただくことにより、高松市民の台所としての卸売市場の役割を知っていただくとともに、市民に親しまれ、市民に関わられた市場づくりを推進しています。	2.12.14	決算額:0千円 予算額:320千円	実施回数/来場者数	平成25年度 5回/6,900人 平成26年度 5回/5,800人 平成27年度 5回/5,000人 平成28年度 5回/5,200人 平成29年度 5回/5,100人 平成30年度 5回/5,300人 令和元年度 4回/4,400人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	開催を中止した。	-	開催を中止した。	感染拡大の収束の見通しが立たないため、今年度の開催は中止とした。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるほか、市民の満足度を維持できるようICTの活用等イベントの内容を見直しながら事業を継続し、市場の認知度向上及び生鮮食料品の消費拡大を図る。	イベントの内容を見直し、密にならないための来客者同士の距離の確保及び動線を整備するとともに、アルコール消毒等の徹底を行いながら、イベントを開催する。	継続	市場管理課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【食プロジェクト】豊富な食文化と異文化との融合

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
5	市場DE自由研究 事業	小学生及びその保護者を対象に、 市場の流通の仕組みや機能を、夏 休みにおける自由研究の題材として 提供することにより、市場の役割等 の知識を深めます。 今後は、市場をより身近に感じて いただけるような事業展開とともに、 引き続き、市場流通の拡大につなげ るよう地産地消の題材も取り入れて いきます。	2.12.14	決算額:0千円 予算額:120千円	実施回数/参加 者数	平成25年度 6回/226人 平成26年度 6回/218人 平成27年度 6回/202人 平成28年度 6回/194人 平成29年度 6回/180人 平成30年度 6回/181人 令和元年度 6回/162人 令和2年度 中止 令和3年度 3回/85人	開催を中止し た。	-	花き部:7月22日7:30~10:30 参加者数:12組24人 青果部:7月23日6:30~9:30 参加者数:14組29人 水産物部:7月31日5:45~9:00 参加者数:14組32人 計3回40組85人で開催	当日受付で検温及び手指消毒の 実施、マスク着用の励行、例年行っ ていた試食を取りやめる等の感染 防止対策を講じたほか、規模を半分 に縮小して事業を実施した。	令和3年度においては、各部1回 の開催に対して2倍以上の応募が あったため、令和4年度は各部2回 の計6回実施で検討する。	令和3年度に引き続き、検温や消 毒、体調管理等の感染核防止対策 を十分に講じ、感染状況を見極めな がら事業を実施する。	継続	市場管理 課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
1	2021ジャパンパラ 陸上競技大会	令和3年4月24日(土)、25日(日)に屋島レクザムフィールドで大会を開催し、障がい者スポーツの推進に取り組むとともに、子ども達への心のバリアフリー醸成や共生社会の実現に努めます。	3,4,10,17	決算額:669千円 予算額:4,136千円					新型コロナウイルス感染症対策を講じ、大会運営を行うほか、子ども達への心のバリアフリー醸成につながるイベントを企画し、障がい者スポーツの推進に努める。	本市における新型コロナウイルス感染状況等を鑑み、大会前の市内小学校3校でパラリンピアンとの交流事業は中止とした。観客についても事前募集を行い、有観客で実施予定であったが、無観客に変更した。 2階で実施予定だったパラスポーツ体験ブースも中止し、代替イベントとして、子ども達の手話による応援動画を大会開催中に大型映像装置で放映した。また、パラスポーツや東京大会をテーマに作品を募集し、高校生の書道作品や専門学校生による絵画作品の展示を行った。	実施予定なし	影響なし	継続	スポーツ振興課
2	観光客受入環境 整備事業	観光客等の満足度向上を図るため、無線LAN等の環境整備や観光案内板を整備して情報提供を行うほか、産学官が連携して外国人観光客の受入環境の整備事業に取り組む。	8,14,15,17	決算額:4,976千円 予算額:4,976千円	市内の主な観光施設等利用者数	平成25年度 6,315千人 平成26年度 6,509千人 平成27年度 6,655千人 平成28年度 6,934千人 平成29年度 6,816千人 平成30年度 6,595千人 令和元年度 6,759千人 令和2年度 3,945千人	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための移動制限や外国人の入国制限の影響を受けたことから、施設等利用者数が伸びなかった。	58.4%	令和3年度も引き続き、フリーWi-Fiである「かがわWi-Fi高松」を中心市街地に面的に整備し、運用保守を行うほか、「高松外国人観光客お助け隊」については「やさしい日本語」のワークショップ、指差しシートの作成、高松駅から高松港への道案内動画の製作によって、街頭での声掛け活動再開に備えたガイドカンの向上を図った。	「高松外国人観光客お助け隊」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭での声掛け活動は実施せず、左記ワークショップの実施及びツールの作成を行った。	引き続き、フリーWi-Fiである「かがわWi-Fi高松」を中心市街地に面的に整備し、運用保守を行うほか、「高松外国人観光客お助け隊」が作成した指差しシートや道案内動画を、本市観光サイト「エクスペリエンス高松」に掲載して、市民・観光客の間での活用を図る。	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、「高松外国人観光客お助け隊」の声掛け活動を実施するかどうか決定する。	継続	観光交流課
3	魅力にあふれ、 人が輝く創造都市 推進事業	本市の創造都市の取組に関して、審議会・懇談会を開催し、御意見をいただくとともに、創造都市ネットワーク日本に参加し、参加都市間の交流を図ることにより、本市の創造性を高める。	11,17	決算額:653千円 予算額:1,195千円	「高松市創造都市推進局フェイスブックページ」いいね!の数	平成26年度 2,726 平成27年度 3,555 平成28年度 4,138 平成29年度 4,388 平成30年度 4,585 令和元年度 4,950 令和2年度 5,049	イベントの中止・延期が相次ぎ、魅力ある投稿が減少したため、ページに対するいいね!の数の上昇数が伸びなかった。	102.0%	引き続き、WEB会議での開催・参加する手法も取り入れながら、創造都市推進審議会や創造都市推進懇談会において、本市の活性化に資する御意見をいただきつつ、創造都市ネットワーク日本の事業に参加し、他都市の事例等について、積極的に情報交換を行う。	新型コロナウイルス感染拡大期においては、非対面型によるWEB会議での開催及び出席を原則とする。	高松市創造都市推進審議会や高松市創造都市推進懇談会(U40)において、本市の活性化に資する御意見をいただきつつ、創造都市ネットワーク日本(CCNJ)の事業に参加し、他都市の事例等について、積極的に情報交換を行う。	審議会及び懇談会(U40)については、新型コロナウイルス感染拡大期においては、非対面型によるWEB会議での開催及び出席を原則とする。 創造都市ネットワーク日本(CCNJ)の事業の参加方法については、現地開催とオンライン開催を併用していることから、新型コロナウイルス感染拡大状況も注視しつつ、参加方法をその都度、検討する。	継続	産業振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
4	専門職短期大学 設置支援事業	地域の活性化を担う人材の輩出や、若者の県外流出の抑制等を図るため、高松市公共施設再編整備計画(1次)案において、有識者等の意見を反映した総合評価で「2022年度末までに売却を含めた廃止を検討することとされていた高松テルサの跡施設を有効活用し、学校法人穴吹学園が構想する「専門職短期大学」の設置を支援します。	4.8.17	決算額:0千円 予算額:6,565千円	専門職短期大学 入学手続完了者数				高松テルサ跡施設について、引き続き、学校法人穴吹学園に貸付するとともに、既存不適格となっているホール棟の天井の改修工法を検討業務委託する。	特になし。	高松テルサ跡施設について、引き続き、学校法人穴吹学園に貸付する。	影響なし	継続	産業振興課
5	創造支援センター運営事業	本市における特色ある事業の創出及び地域産業の振興に寄与するため、四番丁スクエア内に、創造性に富む発想や独自性のある技術を活用した新規事業者等の活動拠点としてのインキュベーター施設(全6部屋)を設置・運営している。	9	決算額:271千円 予算額:377千円					継続して事業を実施する。	特になし。	継続して事業を実施する。	影響なし	継続	産業振興課
6	グリーン・ツーリズム推進事業	市内のグリーン・ツーリズムの推進を図るため、グリーン・ツーリズム実践者の活動を支援する。	8.9.11.15	決算額:136千円 予算額:175千円					市内のグリーン・ツーリズムの推進を図るため、グリーン・ツーリズム実践者の活動を支援する。	アフターコロナを見据えた、グリーン・ツーリズム実践者の活動を支援する。	市内のグリーン・ツーリズムの推進を図るため、グリーン・ツーリズム実践者の活動を支援する。	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めた上で、各種取組を実施する。	継続	農林水産課
7	ため池景観整備維持管理事業	ため池景観整備事業等で実施した施設、樹木等の維持管理に関する協定を締結した法人または市長が認める団体に対して補助金を交付し、当該施設等の適正な維持管理を図る。	6.9.15	決算額:8,140千円 予算額:8,140千円	地区数/補助金	平成25年度 17地区/ 7,697,300円 平成26年度 17地区/ 7,819,500円 平成27年度 17地区/ 8,269,600円 平成28年度 17地区/ 8,135,800円 平成29年度 16地区/ 7,940,600円 平成30年度 16地区/ 8,252,500円 令和元年度 16地区/ 8,494,600円 令和2年度 16地区/ 8,139,400円	影響なし	地区数:100% 補助金:95.8%	引き続き、事業実施に係る支援を行い、当該施設等の適正な維持管理を図る。	影響なし	引き続き、事業実施に係る支援を行い、当該施設等の適正な維持管理を図る。	活動団体ごとに感染防止に留意しながら取り組んでいる。	継続	土地改良課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
8	高松城跡(玉藻公園)をいかした観光振興事業	重要文化財の指定を受けた披雲閣を中心とし、高松城跡(玉藻公園)の観光拠点としての知名度向上及び観光客の増加を図るため、バーチャル高松城の活用や和船体験事業等の事業を行うとともに庭園のライトアップ等、ナイト観光を充実させるイベントを実施。	8,14,15,17	決算額:6,679千円 予算額:6,684千円	入園者数	平成25年度玉藻公園入園者数 178,776人 平成26年度玉藻公園入園者数 194,026人 平成27年度玉藻公園入園者数 218,264人 平成28年度玉藻公園入園者数 238,146人 平成29年度玉藻公園入園者数 228,385人 平成30年度玉藻公園入園者数 202,161人 令和元年度玉藻公園入園者数 229,439人 令和2年度玉藻公園入園者数 82,966人	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための移動制限や外国人の入国制限の影響を受けたことから、入園者数が伸びなかった。	36.2%	引き続き、バーチャル高松城や和船体験事業を実施するとともに、MICEがサンポート地区で開催される際に、同園を本市ならではの歴史文化を演出できるユニークベンチャーとして活用し、知名度アップ及び観光客の増加を図っていく。	令和3年度におけるコロナの影響やコロナに対する具体的な対応や取組 民間事業者と連携しながら、文化庁事業の採択を受けて、讃岐の伝統工芸士と世界的に活躍するアーティストの交流と共創による創作品を、日中から夜間にかけて、展示・体験する「讃岐ReMIXプロジェクト」を実施した。 本市としても同実証事業が次年度以降も継続事業として効果を上げられるようプロモーション等連携して取り組む。	令和4年度事業見込 バーチャル高松城や和船体験事業の実施やMICEユニークベンチャーやエクスカッションの活用働きかけを行うとともに、「讃岐ReMIXプロジェクト」については、瀬戸内国際芸術祭会期中に創作品の展示・体験するEXHIBITIONイベントを実施する等によって、夜型観光や文化観光を推進するとともに、同プロジェクトのブランディング及び自走化を図る。	令和4年度におけるコロナの影響やコロナに対する具体的な対応や取組 新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、事業の実施形態を検討する。	継続	観光交流課
9	屋島山上拠点施設整備事業	屋島の多様な特性・価値を深く知るための機会を提供し、より多くの人に愛着を持ってもらうため、屋島山上に誰もが気軽に立ち寄り、屋島の歴史、文化、自然環境等について学び、交流することができる拠点施設を整備します。	8	決算額:503,473千円 予算額:890,302千円	屋島入込客数	平成26年度 511,577人 平成27年度 504,399人 平成28年度 506,682人 平成29年度 498,696人 平成30年度 494,984人 令和元年度 531,485人 令和2年度 336,510人	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入込客数が前年度より落ち込んだ。	63.3%	屋島山上交流拠点施設の指定管理者の公募を開始するとともに、建設工事を着実に進めていく。	引き続き、工事現場等における新型コロナウイルス感染症防止策を講じながら、建設工事を着実に進めていく。	屋島山上交流拠点施設の工事を完了させるとともに、屋島の活性化が図られるよう、オープン前から指定管理者と十分に連携を図り、オープン初年度の施設運営を行っていく。	引き続き、工事現場等における新型コロナウイルス感染症防止策を講じながら、建設工事を着実に進め、また、施設の管理運営について、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行えるよう、指定管理者と事前に協議し、安全な施設運営を実現する。	継続	観光交流課
10	屋島活性化推進事業	屋島の活性化に向け、屋島の有する特性・価値を将来にわたり継承しつつ、市民を始め、屋島を訪れる人々に広く知ってもらうため、「屋島活性化基本構想」に基づく事業を実施し、屋島を世界に誇れる本市のシンボルとして再生します。 この事業の一つとして、山上を訪れる人々に屋島を知ってもらうため、人が集まり、学び、楽しみ、交流できる拠点となる屋島山上拠点施設を整備します。 また、屋島ドライブウェイの無料化・市道化により、屋島に気軽に訪れることのできる環境づくりが図られていることから、より一層屋島山上への誘客を推進していきます。 さらに、屋島城跡城門遺構を整備するとともに平成28年3月に一般公開を開始し、屋島の歴史の掘りおこし情報発信を行っています。 平成29年に完成した屋島レクザムフィールドについては、四国大会等の陸上競技大会が開催可能であり、棒高跳の公認競技が可能な室内競技場を全国で初めて併設しています。	8	決算額:575,689千円 予算額:975,771千円 (屋島山上ライブイベント～天空ミュージック～、むれ源平石あかりロードに係る費用を含む。)	屋島入込客数	平成26年度 511,577人 平成27年度 504,399人 平成28年度 506,682人 平成29年度 498,696人 平成30年度 494,984人 令和元年度 531,485人 令和2年度 336,510人	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入込客数が前年度より落ち込んだ。	63.3%	引き続き、源平屋島地域運営協議会において、源平屋島地域のまつり・各種イベントを補助・共同宣伝することにより、源平屋島地域全体の活性化やにぎわいの創出、誘客の促進に努める。また、バス運行事業者による屋島山上シャトルバス運行事業への補助や屋島関係情報ポータルサイトの運営を行い、源平屋島地域への観光客の誘致を図るとともに、屋島周辺の観光施設への周遊を促す取組を行いながら、屋島に対する関心を広く醸成する。	感染拡大防止対策を十分に講じたイベントの開催方法を検討しながら、源平屋島地域のまつり・各種イベントを補助・共同宣伝することにより、源平屋島地域全体の活性化やにぎわいの創出、誘客の促進に努める。また、バス運行事業者による屋島山上シャトルバス運行事業への補助や屋島観光パンフレットの作製を行い、源平屋島地域への観光客の誘致を図るとともに、屋島周辺の観光施設への周遊を促す取組を行いながら、屋島に対する関心を広く醸成する。	源平屋島地域運営協議会において、源平屋島地域のまつり・各種イベントを補助・共同宣伝することにより、源平屋島地域全体の活性化やにぎわいの創出、誘客の促進に努める。また、バス運行事業者による屋島山上シャトルバス運行事業への補助や屋島観光パンフレットの作製を行い、源平屋島地域への観光客の誘致を図るとともに、屋島周辺の観光施設への周遊を促す取組を行いながら、屋島に対する関心を広く醸成する。	感染拡大防止対策を十分に講じたイベントの開催方法を検討しながら、源平屋島地域のまつり・各種イベントを補助・共同宣伝することにより、源平屋島地域全体の活性化やにぎわいの創出、誘客の促進に努める。また、バス運行事業者による屋島山上シャトルバス運行事業への補助や屋島観光パンフレットの作製を行い、源平屋島地域への観光客の誘致を図るとともに、屋島周辺の観光施設への周遊を促す取組を行いながら、屋島に対する関心を広く醸成する。	継続	観光交流課
11	屋島山上ライブイベント～天空ミュージック～	「食」と「音楽」による屋島山上への誘客を目的とし、「屋島夜景フェスタ」の開催期間中のいずれかの金・土曜日に、屋島山上において、著名なミュージシャン等による音楽ライブを実施する。	8	決算額:0千円 予算額:2,380千円	来場者数	平成26年度 1,450人 平成27年度 1,110人 平成28年度 1,020人 平成29年度 1,280人 平成30年度 1,100人 令和元年度 1,430人 令和2年度 中止	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止となった。	-	「食」と「音楽」による屋島山上への誘客を目的とし、屋島山上において、著名なミュージシャン等による音楽ライブの実施を検討しているが、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	感染拡大防止対策を十分に講じた上で、オンライン配信を含めた開催を検討する。	「食」と「音楽」による屋島山上への誘客を目的とし、屋島山上において、著名なミュージシャン等による音楽ライブの実施を検討しているが、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	感染拡大防止対策を十分に講じた上で、オンライン配信を含めた事業の実施形態や開催方針について検討する。	継続	観光交流課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
12	温泉をいかした塩江地域の観光振興事業	観光客のニーズや嗜好、競争環境の変化等に的確に対応し、地域の持つ魅力を向上させて塩江地域の活性化を図るため、塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づき、温泉をいかした塩江地域の観光振興に努めます。	11	決算額:26,553千円 予算額:128,998千円	塩江温泉郷観光入込客数	平成25年度 59,392人 平成26年度 64,785人 平成27年度 68,150人 平成28年度 69,039人 平成29年度 70,010人 平成30年度 65,944人 令和元年度 66,726人 令和2年度 32,852人	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、宿泊客数が前年度より落ち込んだ。	49.2%	塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づき、各整備設計等業務に取り組み、持続可能な管理運営体制の構築に向けた検討を進める。	塩江温泉郷観光活性化基本構想・高松市塩江道の駅エリア整備基本計画に基づき、各整備設計等業務に取り組み、持続可能な管理運営体制の構築に向けた検討を進める。	塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づき、道の駅エリアの各種工事を着手していく。	塩江温泉郷観光活性化基本構想・高松市塩江道の駅エリア整備基本計画、各整備設計等業務の成果に基づき、道の駅エリアの各種工事を始めるとともに、持続可能な管理運営体制の構築に向けた検討を進める。	継続	観光交流課
13	誘客促進事業	本市への誘客を促進するため、香川県と連携し、高松空港への直行便が就航している台北、上海、ソウル、香港及び成田を対象に観光キャンペーンなどを実施するほか、多言語対応可能な観光案内所の運営や、クルーズ客船の受入事業を行う。 また、広島市、松山市、岡山市及び本市の4市で構成する「瀬戸内4県都市長会」で観光客誘致事業を実施するとともに、(公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じて、国内外からの観光客の本市での滞在の促進に取り組む。	8	決算額:61,622千円 予算額:150,084千円	観光案内所利用者数(外国人)／ 観光関連施設等利用者数	平成25年度 -人／ 6,315千人 平成26年度 -人／ 6,509千人 平成27年度 -人／ 6,655千人 平成28年度 18,597人／ 6,934千人 平成29年度 18,313人／ 6,816千人 平成30年度 23,164人／ 6,595千人 令和元年度 22,566人／ 6,570千人 令和2年度 524人／3,946千人	新型コロナウイルス感染症の影響による外国人の入国制限に伴い東アジア4路線が全て運休となった。	観光案内所利用者数(外国人): 2.3% 観光関連施設等利用者数:60%	東アジア4路線、国内線(成田線)の休止中は、WEBやSNSを活用したプロモーションを実施する。 瀬戸内4県都市長会では、PRイベントが中止となる場合は、オンライン配信を実施。また、各市の所有するプラネタリウム施設のCMとして上映する。 瀬戸内4県都市長会では、国内をターゲットとしたVR映像の制作及びPRイベントを行う。 (公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じて、主に国内からの観光客の本市での滞在の促進に取り組む。	東アジア4路線、国内線(成田線)の休止中は、WEBやSNSを活用したプロモーションを実施する。 瀬戸内4県都市長会では、引き続き国内をターゲットとした誘客イベントを行う。 (公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じて、主に国内からの観光客の本市での滞在の促進に取り組む。	東アジア4路線、国内線(成田線)の休止中は、WEBやSNSを活用したプロモーションを実施する。 (公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じて団体旅行補助については、引き続き修学旅行を中心に、本市滞在の促進に取り組む。	継続	観光交流課	
14	さぬき高松まつり	四国の四大祭りの一つとして、また、讃岐路の真夏の夜を彩る祭典として、市民をはじめ多くの観光客にも親しまれており、「ものっそ高松」を合言葉に、「瀬戸の都・高松」にふさわしい一大イベントとして、中央公園・中央通り・サンポート高松をメイン会場に、盛大に開催する。	8	決算額:0千円 予算額:47,521千円	入込客数	平成25年度 650,000人 平成26年度 620,000人 平成27年度 650,000人 平成28年度 620,000人 平成29年度 610,000人 平成30年度 580,000人 令和元年度 210,000人 令和2年度 中止	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となった。	-	新型コロナウイルスの感染防止に向けた国のガイドラインの留意事項を踏まえ、第55回のさぬき高松まつり記念大会として花火大会及び総おどりの実施を検討していたが、参加者や来場者の安全性が確保できないため中止。	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となった。 また次年度以降のコロナ禍におけるイベントの在り方について検討を行う。	新型コロナウイルスの感染防止に向けた国のガイドラインの留意事項を踏まえ、第55回のさぬき高松まつり記念大会として花火大会及び総おどりの実施を検討しているが、GW期間までに、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	新型コロナウイルスの感染防止に向けた国のガイドラインの留意事項を踏まえ、第55回のさぬき高松まつり記念大会として花火大会及び総おどりの実施を検討しているが、GW期間までに、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	継続	観光交流課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
15	高松秋のまつり・ 仏生山大名行列	高松の四季を表すまつりの一つとして、市民をはじめ、多くの観光客にも親しまれるまつりを目指すとともに、中心会場となる高松南部地域の活性化に寄与する。	8	決算額:0千円 予算額:9,071千円	入込客数	平成25年度 130,000人 平成26年度 150,000人 平成27年度 145,000人 平成28年度 145,000人 平成29年度 117,000人 平成30年度 155,000人 令和元年度 160,000人 令和2年度 中止	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となった。	-	高松市立仏生山公園や仏生山商店街を会場に、大名行列のほか、野外劇場やよるす処、黒門市等さまざまな催しを検討しているが、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となった。また次年度以降のコロナ禍におけるイベントの在り方について検討を行う。	高松市立仏生山公園や仏生山商店街を会場に、大名行列のほか、野外劇場やよるす処、黒門市等さまざまな催しを検討しているが、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	新型コロナウイルスの感染防止に向けた国のガイドラインの留意事項を踏まえ、第27回高松秋のまつり・仏生山大名行列の実施を検討しているが、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は、高松秋のまつり・仏生山大名行列実行委員会等の判断により、中止する。	継続	観光交流課
16	高松まちかど漫遊帖	本実行委員会において、ガイドブック「高松まちかど漫遊帖」を春と秋の2回計画し、4月頃～6月頃までの期間において春編を、10月頃～12月頃までの期間において秋編を毎年開催している。	8	決算額:1,591千円 予算額:1,849千円	参加者数	【開催回数/延べコース数/延べ参加者数】 平成25年度 2回/44コース/476人 平成26年度 2回/33コース/385人 平成27年度 2回/47コース/562人 平成28年度 2回/47コース/455人 平成29年度 2回/48コース/469人 平成30年度 2回/51コース/500人 令和元年度 2回/62コース/499人 令和2年度 2回/24コース/133人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための、移動制限等の影響を受けたことから、参加者数が伸びなかった。	開催回数:100% (春秋通じての実開催数は、24回/48回(予定の半数)) 延べコース数:38.7% 参加者数:26.6%	春編と秋編の2回、インターネットやSNSと連動した、まち歩きパンフレットを作成する。また実施の際には「3密」回避の徹底や動画配信サービス等の利用により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限留意する。	引き続き、「3密」回避の徹底や動画配信サービス等の利用により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限留意する。	春編と秋編の2回、インターネットやSNSと連動した、まち歩きパンフレットを作成する。また実施の際には「3密」回避の徹底や動画配信サービス等の利用により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限留意する。	コース催行前のアルコール消毒、検温を徹底し、発熱・体調不良の参加者に関しては、漫遊帖への参加を控えていただくようにする。万が一の場合に備え、参加者に連絡を行うことできるよう、参加者の名前・住所・連絡先を記録する。その他、県が定めた「感染防止策チェックリスト」の内容に準拠し、コースを催行する。	継続	観光交流課
17	SETOUCHI SUMMER NIGHT FESTIVAL	「アート県・香川」としてのイメージを定着させるとともに、交流人口の拡大を目的として、瀬戸内海を臨むウォーターフロントの特性を生かし、アート色豊かなイベントを開催する	8	決算額:2,719千円 予算額:25,000千円	来場者数	平成26年度 35,000人 平成27年度 52,000人 平成28年度 20,300人 平成29年度 31,250人 平成30年度 32,111人 令和元年度 38,340人 令和2年度 中止	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となった。	-	香川県と共同で、瀬戸内海を臨むウォーターフロントで「パフォーマンス・音楽・食」による幻想的な空間を作り出す夜型イベントのコロナ禍に対応した形での実施に向け検討を行った。県と協議し、参加者や来場者の安全性の確保とイベント本来の目的が十分に果たせないことなどから中止した。	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となった。	以下の理由から令和4年度以降は開催しないこととなった。 ・県、市共に財政状況が厳しく、全事務事業のゼロからの見直しが必要であること。 ・同イベントは立ち上げから8年が経過し、本市の夏の風物詩として定着したものの、参加者の約8割が市内・県内在住者であり、事業目的である宿泊等の観光消費額拡大に十分繋がっていないこと。 ・新県立体育館の整備・活用による新たなにぎわいの創出が見込まれる中、同イベントは一定の役割を終えたと判断できること。 ・来年度以降、新県立体育館の建設工事に伴い、同イベントの魅力であるシーフロントの開放感あふれる会場で上質な音楽と大道芸を楽しむ環境が整わないこと。	廃止	観光交流課	

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
18	MICE振興事業	本市が有するMICE開催に必要な機能の更なる充実や有機的な連携を図ることにより、高松ならではのMICE誘致を展開するため、MICE振興戦略に基づき施策を推進する。	8.17	決算額:4,420千円 予算額:32,000千円	コンベンション開催件数	平成25年度 203件 平成26年度 226件 平成27年度 217件 平成28年度 214件 平成29年度 226件 平成30年度 217件 令和元年度 171件 令和2年度 24件	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための移動制限や外国人の入国制限の影響を受け、MICEの中止・延期が相次いだ。	14.0%	(公財)高松観光コンベンション・ビューローと連携しながら、MICE参加者向けプロモーション動画を製作して、参加者数の増加を図る。併せて、県とも連携しながら、大規模MICEや政府系国際会議の誘致及び開催支援、関係機関との連携による受入態勢の強化に取り組む。	感染症拡大防止対策助成制度及びハイブリット会議開催支援助成制度を創設することで、安全・安心に高松でMICEを開催するためのMICE主催者向けの支援を強化することで、本市での開催件数及び参加者数の増加を図る。	県と連携しながら、2023年日本開催予定のG7関係閣僚大臣会合の本市開催を誘致するとともに、引き続き、(公財)高松観光コンベンション・ビューローや県と連携しながら、大規模MICEや政府系国際会議の誘致及び開催支援、関係機関との連携による受入態勢の強化に取り組む。	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、感染症拡大防止対策助成制度及びハイブリット会議開催支援助成制度の継続等、安全・安心に高松でMICEを開催するためのMICE主催者向けの支援について検討する。	継続	観光交流課
19	「気持ち高まる、高松。」シティプロモーション事業	高松を知らない層に対して、効果的な情報発信を行うことにより、本市に対するポジティブなイメージの浸透を図り、観光・MICE誘致のみならず、移住・定住促進、シビックプライド醸成などにつなげる。	8.17	決算額:5,630千円 予算額:5,630千円	サイト訪問件数	平成30年度 63,459件 令和元年度 159,258件 令和2年度 128,570件	影響無し	80.7%	引き続き、「エクスペリエンス高松」において本市ならではの魅力的な体験型コンテンツやグルメ等の情報発信を強化するとともに、旅ナカでのお役立ち情報を集約させるサイト大規模改修を完了させ、本市滞在中の満足度向上を図る。併せて、令和2年度にコロナ経済対策として実施した「ディスカバーたかまつフォトコンテスト」のInstagramを「気持ち高まる、高松。」Instagramにリニューアルし、一般投稿による本市の魅力的な画像をリポストし、その拡散を図ることとした。	新型コロナウイルス感染症収束後に向け、より効果的な情報発信となるよう、コロナ禍における新しいトレンドに合わせたテーマを取り上げるほか、SNSの更なる活用も検討。	瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせて、メインビジュアルに瀬戸芸作品を設定する、来場者に対してグルメ情報や滞在中のお役立ち情報、関連イベント情報等を提供する等のトップページの改修を行うとともに、屋島山上交流拠点施設やサイクリング等の本市ならではの体験型コンテンツを特集した記事を蓄積し、情報発信を行う。併せて、引き続き、「気持ち高まる、高松。」Instagramを活用し、魅力的な画像の拡散を図る。	影響なし	継続	観光交流課
20	せとるべ(高松港玉藻防波堤灯台)夜間特別公開	“灯台のまち高松”事業の一つとして、若年層への認知度向上及びメディアの拡散効果を狙って、日中は毎年開催されているものの、夜間は開催されてこなかったせとるべの特別公開を行う。	8.17	決算額:0千円 予算額:0千円	高松市創造都市推進局Facebookにおける「灯台」関連発信記事のリーチ数	平成30年度 18,358件 令和元年度 9,996件 令和2年度 2,400件	灯台関連イベントの中止が相次ぎ、灯台関連発信記事の投稿が2件に留まった。	24.0%	新型コロナウイルス感染症の影響によりせとるべの夜間特別公開は実施しなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響によりせとるべの夜間特別公開は実施しなかった。	引き続き、高松海上保安部や(公財)高松観光コンベンション・ビューローと連携しながら、せとるべの夜間特別公開の実施について検討する。	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、せとるべの夜間特別公開を実施するかどうか決定する。	継続	観光交流課
21	瀬戸内国際芸術祭2022	文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興を、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けて、香川県・関係市町及び福武財団などとともに開催する瀬戸内国際芸術祭を推進していきます。今後も市独自の関連事業を積極的に実施し、内陸部への観光客の誘客も図り、本市の活性化につなげていきます。	4.8.17	決算額:5,697千円 予算額:5,708千円	トータル来場者/外国人の割合(アンケート調査)/経済波及効果	2010年 938,246人/1.1%/一億円 2013年 1,070,368人/2.6%/132億円 2016年 1,040,050人/13.4%/139億円 2019年 1,178,484人/23.6%/180億円	影響なし(瀬戸芸開催年度のみ)	-	令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、引き続き、ART SETOUCHI2021として一部作品の公開を継続するとともに、令和4年度に予定している瀬戸内国際芸術祭2022の開催準備を進めていく。	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、ART SETOUCHI2022における公開範囲を調整するとともに、瀬戸内国際芸術祭2022の準備を進めていく。	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、女木島、男木島、大島、高松港を高松市の会場として瀬戸内国際芸術祭2022を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外作家の来日や、県外の作家が来高して作品制作することが困難になったり、作品制作や受付のボランティアサポーターである「こえび隊」の募集に影響が生じることが予想される。会場となる離島等においては、地元に対して新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を丁寧に説明し、理解を得た上で、作品制作や来場者を迎える体制づくりを構築する。	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
22	高松国際ピアノコンクール	音楽芸術の振興と国際的な文化交流を図ることにより、地域に根ざした文化芸術の創造と振興に寄与することを目的として、民間主導により行われる国際的なピアノコンクールの開催を支援します。 第3回高松国際ピアノコンクール(平成25年度開催)の翌年度からは、同コンクール組織委員会の実施事業以外に、本市と組織委員会が連携した取組として、学校訪問リサイタル、コンクール審査員による演奏会や公開レッスンを実施し、今後は、令和4年の第45回開催を契機に本市の音楽文化の交流の場を広げるとともに、その発展を目指していきます。	4.8.17	決算額:1,133千円 予算額:26,060千円	大会参加人数/ 観客数	平成18年 306人/11,250人 平成22年 243人/7,550人 平成26年 239人/7,180人 平成30年 332人/10,230人	影響なし(コンクール開催年度のみ)	-	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、第5回高松国際ピアノコンクールの開催時期及び方法等について検討する。また、例年よりも縮小されるが、併せて、推進事業も実施する。	推進事業は、毎回実施していた学校訪問リサイタルに代えて、入場者の連絡先把握、消毒、検温、3密回避等対策を講じた上で、県内の音楽関係者によるピアノアンサンブルを開催する。	新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて事業の実施方法を検討し、事業継続に努める。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施内容、感染症拡大防止策等を検討する。	継続	文化芸術振興課
23	かがわ山なみ芸術祭	芸術を軸とした地域の活性化を図るため、県内在住のアーティストと国内外の優れたアーティストが連携し、現代美術作品の展示やワークショップを実施します。地域の歴史文化や風土を作品制作における重要なテーマとし、そこでしか見ることができないアートイベントを目指します。	4.17	決算額:0千円 予算額:0千円	来場者数	2016 ■来場者数(高松市エリア) 瓦町FLAG(プレイベント) 700人 塩江町 2,826人 2019 ■会期(塩江エリア) 9月27日(金)~10月20日(日) ■会場(塩江エリア) 塩江美術館・モモの広場、大滝山県民いこいの森、大屋敷地区、西照神社、ホテルセカンドステージ ■来場者数(塩江エリア) 962人 ※塩江美術館のみ	影響なし(瀬戸芸開催年度のみ)	-	実施予定なし(瀬戸芸開催年度のみ)	影響なし(瀬戸芸開催年度のみ)	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、かがわ山なみ芸術祭2022SHIONOEを開催する。瀬戸内国際芸術祭2022県内周遊事業としても位置づける。	アーティスト及び地域住民と十分協議し、新型コロナウイルス感染症の状況に応じた適切な対策を検討する。	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
24	まちなかパフォー マンス事業 ・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES ・サンポートオー タムジャム ・高松フラストリ ート ・街クラシックin高 松 ・たかまつ大道芸 フェスタ	市民の文化芸術への関心を高めるとともに、まちかどに芸術のあふれる「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、サンポート高松や商店街等で、アートに関連した各種イベントを実施します。 今後は、音楽やパフォーマンス等を通して、市民や観光客が、中心市街地において文化芸術を気軽に楽しめる空間づくりを推進します。	4.17	決算額:3,500千円 予算額:5,900千円	【TAKAMATSU MUSIC BLUE FES】観客数 (平成25年、26年は街角に音楽をフェスティバル)	平成25年度 6,850人 平成26年度 7,610人 平成27年度 20,200人 平成28年度 26,370人 平成29年度 26,370人 平成30年度 26,900人 令和元年度 33,000人 令和2年度 204人 ※入場制限 (生配信観覧者 1,591人)	R4、3月実施予定。	0.6%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。また、オンラインによるリアルタイム及びアーカイブでの映像配信を予定している。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	継続	文化芸術振興課
				決算額:1,000千円 予算額:1,000千円	【サンポートオータムジャム】観客数 (平成25年度、26年度はワールドダンスフェスティバル)	平成25年度 3,100人 平成26年度 650人 平成27年度 3,800人 平成28年度 1,500人 平成29年度 1,600人 平成30年度 1,600人 令和元年度 1,700人 令和2年度 173人 ※入場制限 (生配信観覧者 2,648人)	R4、3月実施予定。	10.2%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	継続	文化芸術振興課
				決算額:1,000千円 予算額:500千円	【高松フラストリート】観客数	平成25年度 6,800人 平成26年度 7,800人 平成27年度 8,600人 平成28年度 9,500人 平成29年度 10,500人 平成30年度 12,600人 令和元年度 14,200人 令和2年度 753人 ※入場制限	R4、3月実施予定。	5.3%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	継続	文化芸術振興課
				決算額:82千円 予算額:500千円	【街クラシックin高松】観客数	平成25年度 6,470人 平成26年度 1,630人 平成27年度 3,300人 平成28年度 1,670人 平成29年度 1,020人 平成30年度 1,650人 令和元年度 2,400人 令和2年度 中止	R4、3月実施予定。	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	継続	文化芸術振興課
				決算額:4,000千円 予算額:7,100千円	【たかまつ大道芸フェスタ】観客数	平成25年度 27,600人 平成26年度 38,000人 平成27年度 46,600人 平成28年度 54,500人 平成29年度 62,250人 平成30年度 66,060人 令和元年度 73,470人 令和2年度 567人 ※入場制限 (生配信観覧者 13,400人)	R4、3月実施予定。	0.8%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。また、オンラインによるリアルタイム及びアーカイブでの映像配信を予定している。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
25	アーティスト・イン・レジデンス事業	(高松アーティスト・イン・レジデンス) 高松市内の活用されていない資源(例えば、空き家、廃校、商店街の空き店舗等)を活用し、国内外から招へいたアーティストが一定期間滞在し、地域とのつながりの中で作品制作を行うことで、地域との協働が生まれ、地域に賑わいをもたらすとともに、アートへの普及や若手アーティスト等の育成にもつなげます。	4.17	決算額:2,618千円 予算額:3,013千円	応募件数・実施事業数	平成27年度 応募17件、実施3件 平成28年度 応募40件、実施3件 平成29年度 応募15件、実施3件 平成30年度 応募27件、実施2件 令和元年度 実施なし 令和2年度 応募25件、実施3件 令和3年度 中止	中止	-	新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外からのアーティストの招聘、また地域交流事業の実施が困難であることから、中止した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外からのアーティストの招聘、また地域交流事業の実施が困難であることから、中止した。	瀬戸内国際芸術祭開催年度であるため、従来通り実施しない。	-	継続	文化芸術振興課
		(大島アーティスト・イン・レジデンス) 県内外の小学生から中学生までの子どもたちが参加し、大島に宿泊するサマーキャンプを実施します。入所者との交流によりハンセン病の歴史を学び、歴史的遺産の伝承に資するとともに、大島の自然、瀬戸内国際芸術祭の作品鑑賞、アーティストによるワークショップ体験を通じ、大島の魅力を伝え、将来にわたる島の振興を図ります。	4.17	決算額:1,624千円 予算額:2,000千円	参加児童・生徒数	平成27年度 32人 平成28年度 22人 平成29年度 25人 平成30年度 21人 令和元年度 25人 令和2年度 3人 令和3年度 7人	実施内容がオンラインであったので、例年より、参加児童・生徒数が減となった。	12.0%	長期的な大島の振興につながる交流促進の取組みとして継続するが、令和3年度は内容を変更し、オンラインで「大島アワー」成果発表を行った。	Zoomを用いてオンラインで実施する。	小中学生が参加し、3日間、大島に宿泊しながら、ワークショップを行い、ウェブ上で公開しているラジオ番組「大島アワー」を制作する。「大島アワー」には、大島青松園入所者のインタビューやワークショップで作成した楽器の演奏等を盛り込み発信し、多くの人に大島や大島での活動について知ってもらい、来訪のきっかけを創出する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの実施とする等、今後においても大島青松園入所者等の意向に十分配慮した実施形態としていく。	継続	文化芸術振興課
26	高松市文化芸術ホール改修事業	高松市文化芸術ホールは平成30年度で開館から14年が経過し、音響・照明・舞台設備の更新が必要となるとともに、ホールのつり天井は既存不適格建築物として改修等の対応が必要になっています。そのため、更新・改修に係る工法・範囲等の調査検討の上、効率的な更新改修計画に基づき実施設計し、休館期間を設けて全面的に更新・改修を行います。	4.17	決算額:0千円 予算額:161,640千円	設備更新・建物改修に係る進捗率	平成30年度 6% 令和元年度 20% 令和2年度 23%	一部業務の完了が遅れることとなり、進捗率が予定より下がった。	115.0%	実施設計を完了させるとともに、令和4年度からの改修工事に向けた準備を進める。	工事コストの最適化を念頭に置きながら、実施設計業務委託を実施する。	設計に基づき、令和4、5年度の2か年度にわたり、改修工事を実施する。	改修工事を実施する工事関係者の新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を徹底し、改修工事を施工する。	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
27	高松城跡等整備 事業	城下町高松のシンボルとなる特徴 的な城郭を後世まで守り伝えるた め、史跡高松城跡保存整備基本計 画に基づき、石垣や披雲閣など各 施設の保存修理や桜御門の復元に 努める。また、天守の復元に向けて 資料調査を行う。	4	決算額:90,592千円 予算額:441,399千円	玉藻公園入園者 数	平成25年度 178,776人 平成26年度 194,026人 平成27年度 218,264人 平成28年度 238,146人 平成29年度 228,385人 平成30年度 202,161人 令和元年度 229,439人 令和2年度 82,966人	公園を臨時休園 する等しており、 来園者数への影 響は極めて大で ある。	36.2%	史跡高松城跡保存活用計画の作 成、桜御門復元整備工事、披雲閣 蘇鉄の間耐震補強工事、長櫓外壁 改修工事を継続する。	臨時休園とするなど影響は大き い。また、桜御門復元整備工事につ いても、令和2年度の工程の遅れが 影響している。	月見櫓の外壁及び屋根修理工事を実施す るとともに、披雲閣(大書院)耐震補強工事 実施設計業務を行う。桜御門復元整備工事 しゅん工に伴う内堀仮設ヤード撤去工事を 行う。	感染者数の増加により、臨時休園 とするなど来園者数に影響が予想さ れる。また、史跡内で実施する工事 等の進捗への影響が予想される。	継続	文化財課
28	文化財保存活用 推進事業	市内指定等文化財の適切な保存 を行うとともに、市民に公開する良 好な環境を提供する。	4	決算額:16,338千円 予算額:22,207千円					引き続き、市内指定等文化財の適 切な保存を行うとともに、適切な感 染症対策を講じながら、市民に公開 する良好な環境を提供する。	史跡地の除草等や、文化財管理 及び保存伝承活動に要する経費の 一部助成については、例年どおり実 施している。 ふるさと探訪等の文化財学習・体 験講座については、適切な感染症 対策を講じながら、開催時期・内容 を検討する。	引き続き、市内指定等文化財の適切 な保存を行うとともに、適切な感 染症対策を講じながら、市民に公開 する良好な環境を提供する。	史跡地の除草等や、文化財管理 及び保存伝承活動に要する経費の 一部助成については、例年どおり実 施する。 文化財学習・体験講座について は、適切な感染症対策を講じなが ら、開催時期・内容を検討する。	継続	文化財課
29	障がい者スポー ツ推進事業	障がい者スポーツの推進を図るた め、本市スポーツ施設における環境 整備や障がい者スポーツ大会の誘 致等を通じて、障がい者スポーツ人 口の増大と競技力の向上に取り組 みます。	3,4,10,17	決算額:1,036千円 予算額:10,798千円					2021ジャパンパラ陸上競技大会 の開催に向け、市民の障がい者ス ポーツへの興味関心を高めていた り、特集記事を「広報高松」に 掲載。スポーツ推進委員等と協力し て各地域においてパラスポーツ体 験等を実施する。	参加者の事前募集や人数制限、 アルコール消毒が可能な競技を選 定するなど、参加者が安心して参加 できるよう、市スポーツ推進委員や 地区体育協会と連携し、各地域での パラスポーツ体験会を開催したが、 新型コロナウイルス感染症拡大を受 け、一部延期、中止となっている。 また、日本パラ陸上競技連盟の合 宿の開催や誘致に取り組んだ。	アジアパラ競技大会日本代表合宿開催に あわせ、市内子どもを対象に陸上教室を開 催し、パラスポーツ体験を通じ、パラリンピ アンの交流を図る。	事前募集により、参加者の把握を 行い、健康チェック表の提出など、 新型コロナウイルス感染防止対策を 講じた上で実施する。	継続	スポーツ振 興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
30	トリムの祭典	昭和54年度から、毎年体育の日に中央公園等において、誰もが気軽に挑戦・体験できる市民総参加型のスポーツ・レクリエーションイベントとして開催しています。公園内では、ニュースポーツ体験、健康チェックコーナー、ヨガや太極拳等のステージイベント、御当地キャラとの触れ合いなど、また、公園外では、ウォーキング、サイクリング、ちびっ子鬼ヶ島探検などを実施しています。	1,2,3,4,5,6,10,11,17	決算額:0千円 予算額:2,000千円	参加者数	平成25年度 5,000人 平成26年度 中止 平成27年度 6,000人 平成28年度 6,000人 平成29年度 6,000人 平成30年度 6,000人 令和元年度 6,000人 令和2年度 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になった。	-	10月10日に中央公園等において、誰もが気軽に挑戦・体験できる市民総参加型のスポーツ・レクリエーションイベントを開催予定。公園内では、ニュースポーツ体験、健康チェックコーナー、ヨガやフォークダンス等のステージイベントなど、また、公園外では、ウォーキング、サイクリング、ちびっ子鬼ヶ島探検などを実施する予定。	参加者数の制限、実施種目の削減等、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、中止した。	10月10日に中央公園等において、誰もが気軽に挑戦・体験できる市民総参加型のスポーツ・レクリエーションイベントを開催予定。公園内では、バラスポーツ体験、健康チェックコーナー、ヨガやフォークダンス等のステージイベントなど、公園外では、ウォーキング、サイクリング、ちびっ子鬼ヶ島探検などを実施する予定。	参加者の把握を行い、健康チェック表の提出など、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で実施する。	継続	スポーツ振興課
31	東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業(事前合宿誘致実施)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、事前合宿誘致等に努めるほか、オリンピック・パラリンピアンを招聘しスポーツイベントを実施するなど、機運醸成を図ります。	3,4,10,17	決算額:0千円 予算額:7,602千円					新型コロナウイルス感染症拡大を受け、1年延期となったが、令和3年7月上旬に台湾パラ陸上代表選手団の事前合宿を受け入れる予定。	7月上旬で事前合宿の受け入れについて各マニュアルの整備等、準備を進めていたが、台湾政府の選手、スタッフの新型コロナウイルス感染症の感染リスクを最大限に回避するという方針に基づき、事前合宿を中止したい旨の申し入れがあり、受諾した。			完了	スポーツ振興課
32	東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業(聖火リレー事業)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、事前合宿誘致等に努めるほか、オリンピック・パラリンピアンを招聘しスポーツイベントを実施するなど、機運醸成を図ります。	3,4,10,17	決算額:4,600千円 予算額:19,027千円					新型コロナウイルス感染症対策を講じ、令和3年4月18日の聖火リレー、ミニセレブレーション、セレブレーション、8月にパラ聖火フェスティバルを実施予定。	ミニセレブレーションやセレブレーション会場の事前申込のほか、メディアについても、撮影場所に応じた定員を定めて募集を行った。また、混雑が予想されるポイントに警備員を増員したほか、インターネットライブでの視聴を案内した。パラ聖火フェスティバルについては、事前募集で参加者を制限して開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、無観客で開催した。			完了	スポーツ振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
33	高松市美術館サポートショップ事業	会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券(年間パスポート)を提示すると、参加店舗で割引などの特典を受けることができる。また、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用のお客様がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入し、商店街周辺のにぎわいづくりにつなげていく。	4	決算額:50千円 予算額:154千円	【参加店舗数】	【参加店舗数】 平成24年度 39店 平成25年度 53店 平成26年度 69店 平成27年度 119店 平成28年度 147店 平成29年度 145店 平成30年度 134店 平成31年度 125店 令和2年度 126店	特に影響なし	100.8%	連携先を個々の店舗から商店街組合へ移し、協力店舗数の拡大を図ることで、更なる美術館を含めた商店街周辺のにぎわいづくりにつなげていく。また、連携先の見直しに伴い、相互割引制度の内容についても見直す予定である。	商店街組合との連携については予定どおり進めたが、長期の臨時休館(5/4~5/31、8/7~9/30等)を余儀なくされ、特別展会期も短縮となるなど影響が大きかったため、相互割引制度内容については、見直しを行える状況ではなかった。	引き続き商店街組合と協力し、更なる美術館を含めた商店街周辺のにぎわいづくりにつなげていく。	令和4年度も感染状況などを注視しながら、可能な範囲で実施していく。	継続	美術館美術課
34	市民活動センター運営事業	市民と行政が共に考え、共に活動する協働の場として設置している市民活動センターを管理運営し、センター事業を実施します。	11	決算額: 20,292千円 予算額: 20,552千円	【市民活動センター】総利用者数	平成25年度 3,180人 平成26年度 3,218人 平成27年度 15,429人 平成28年度 19,752人 平成29年度 23,977人 平成30年度 21,311人 令和元年度 23,043人 令和2年度 10,263人	休館や講座の中止、会議室の使用制限等のため総利用者数は減少した。	44.5%	中間支援組織としての機能を充実し、市民活動団体等への活動の更なる支援強化を図るとともに、市民活動団体等と地域との連携強化のためマッチングに積極的に取り組む。センター職員のスキルアップを行い、市民に気持ちよく利用してもらえるよう親しみやすい窓口づくりにも努め、相談事業の強化・充実を図る。	新型コロナウイルス感染拡大期においては、休館や講座の中止、会議室の使用制限等により対応する。また、令和2年度に整備した会議室等貸館用公衆無線LANを活用しながら利用促進を推進する。	中間支援組織としての機能を充実し、市民活動団体等への活動の更なる支援強化を図るとともに、市民活動団体等と地域との連携強化のためマッチングに積極的に取り組む。センター職員のスキルアップを行い、市民に気持ちよく利用してもらえるよう親しみやすい窓口づくりにも努め、相談事業の強化・充実を図る。	新型コロナウイルス感染拡大期においては、講座の中止、会議室の使用制限等により対応する。また、会議室等貸館用公衆無線LANが使用できることを周知するなど、会議室の利用促進を推進する。	継続	男女共同参画・協働推進課
35	障がい者アートリンク事業	芸術活動を通じて障がい者の感性・想像力を育み、障がい者の社会参加の促進を図るため、希望する障害福祉サービス事業所等へ芸術家を派遣し、創造性の芽を持つ障がい者とアーティストが長期継続的に関わることで生まれる新しい概念を私たちにする創作活動を支援します。	3.4	決算額:12,474千円 予算額:10,000千円	派遣先事業所	平成26年度 6か所 平成27年度 8か所 平成28年度 9か所 平成29年度 10か所 平成30年度 12か所 令和元年度 13か所 令和2年度 14か所 令和3年度 15か所	影響なし	107.7%	セント・ピーターズバーグ市との姉妹都市提携60周年を記念し、本事業を含む二市関係団体が共同で作品制作を実施。記念式典にも展示され、国際交流の機会、障がい者理解の促進につながった。	新型コロナウイルス感染拡大期においては、対面型の活動方式から、オンラインによる活動への変更等を行う。報告展覧会については、感染防止策を講じた上で開催する(予定)。	引き続き、芸術活動を通じて障がい者の感性・想像力を育み、障がい者の社会参加の促進を図る。	新型コロナウイルス感染拡大期においては、対面型の活動方式から、オンラインによる活動への変更等を行う。報告展覧会については、感染防止策を講じた上で開催する(予定)。	継続	障がい福祉課
36	サンポート高松ライアスロン	サンポートエリアの海と本市中心市街地を会場に、日本全国・世界から幅広い選手たちが参加できる国内屈指の都市型トライアスロン大会「サンポート高松トライアスロン〜瀬戸内国際体育祭〜」を共催し、参加者及び市民の心と体の健康づくりを推進するとともに、本市及びサンポート高松のPR等、活力あるまちづくりの促進を図ります。 また、平成29年度からは、オリンピックの選考対象に位置づけられている国際大会「アジアカップ」を同時開催し、市民がトップレベルのスポーツを間近に観戦する機会を提供するとともに、スポーツを通じた国際交流にも取り組んでいます。	1.2,3,4,5,6,10,11,17	決算額:3,455千円 予算額:15,000千円	参加選手数/ボランティア数/観客数	平成25年度 458人/749人/4,500人 平成26年度 514人/676人/12,000人 平成27年度 479人/703人/13,500人 平成28年度 584人/640人/14,800人 平成29年度 687人/1,016人/38,500人 平成30年度 中止 令和元年度 666人/1,016人/44,200人 令和2年度 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になった。	-	新県立体育館建設に伴い、サンポートエリアにおける競技コース並びに会場レイアウトを一部変更し、エイジ(一般)競技大会を9月12日(日)に予定している。なお、NTT ASTCトライアスロンアジアカップは、開催を見送ることとしている。	実行委員会会議等の開催については、オンライン会議と併用で実施。また、全国からの大規模な移動を伴うため、特にサンポートエリアの新型コロナウイルス感染症対策について、保健所等とも連携し、検討したが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、中止となった。	新県立体育館建設に伴い、サンポートエリアにおける競技コース並びに会場レイアウトを一部変更し、エイジ(一般)競技大会を7月3日(日)に予定。	新型コロナウイルス対策委員会を中心となり、保健所等とも連携し、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、感染状況を見極めながら事業内容等を検討する。	継続	スポーツ振興課
37	東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業(交流事業)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、事前合宿誘致等に努めるほか、オリンピック・パラリンピアンを招聘しスポーツイベントを実施するなど、機運醸成を図ります。	3.4,10,17	決算額:0千円 予算額:0千円					東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後も事業連携を提携している企業からオリンピック、パラリンピアンを招聘し、交流事業を実施し、スポーツ振興につなげていく。	保健所と協議し、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、中止となった。			完了	スポーツ振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R2決算額(千円) R3予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和3年度事業内容	令和3年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和4年度事業見込	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
38	高松市・南昌市 友好都市提携30 周年記念事業	令和2年度に南昌市(中華人民共 和国)との友好都市提携30周年を 迎えることから、国際交流活動を更 に活性化させ、市民の国際感覚の 醸成を図るため、記念事業を実施す る。	10	決算額:351千円 予算額:0千円	記念事業参加者 数	令和2年度 中止	新型コロナウイルス 感染症の影響 により、予定し ていた記念事業 は中止となった。	-	-	-	公式訪問団の相互派遣を検討	影響なし	継続	観光交流 課
39	中国・四国パラ陸 上競技大会	平成29年4月の屋島レクザム フィールドのオープンに伴い、7月に 同会場にて四国で初開催し、今後、 令和元年、令和2年の2年連続で開 催します。 また、大会前日にはパラリンピアン との交流事業、義足体験授業を実 施するほか、大会当日も障がい者 スポーツ体験を実施し、障がい者ス ポーツの推進に努めます。	3,4,10,17	決算額:0千円 予算額:0千円	大会参加人数	平成29年度 112人 平成30年度 未開催 令和元年度 105人 令和2年度 中止	新型コロナウイルス 感染症拡大防 止のため、中止に なった。	-	令和3年～5年度における中国・ 四国パラ陸上競技大会の開催地 は、既に他市で決定しているため、 令和3年度に事業は実施しない。	-	実施予定なし	影響なし	継続	スポーツ振 興課
40	高松市・セント・ ピーターズバーグ 市姉妹都市提携 60周年記念事業	令和3年度にセント・ピーターズ バーグ市(アメリカ合衆国)との姉妹 都市提携60周年を迎えることから、 国際交流活動を更に活性化させ、 市民の国際感覚の醸成を図るた め、記念事業を実施する。	17	予算額:1,420千円	記念事業参加者 数	令和3年度 53人	新型コロナウイルス 感染症の影響 で規模を縮小し て実施した。	-	両市のこれまでの友好の歴史を祝 うため、記念式典等の記念事業を 実施する。	新型コロナウイルス感染症の拡大 に伴い、公式訪問団の派遣は令和 4年度以降に延期し、それ以外は規 模を縮小するとともにオンラインや オンデマンドにより実施した。	公式訪問団の相互派遣を検討	影響なし	継続	観光交流 課